

社会資本総合整備計画 事後評価書（中間評価書）

平成29年 9月21日

計画の名称	1 湖都大津の良好な水環境の形成と市街地の浸水対策									
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）			交付対象	滋賀県 大津市					
計画の目標	琵琶湖の恵みを受け、発展してきた「湖都」大津において、琵琶湖の水環境の保全を図り、安全・安心な水環境の創造と市街地の浸水防止や地震に強い下水道施設の構築を推進する。（防災・安全交付金事業の創設により、浸水対策、地震対策、合流改善事業等の要素事業を全部移行）									
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率が96.7%（H22）から98.0%（H27）とする。 ②瀬田浦クリーク水質浄化整備率が0%（H22）から30%（H27）とする。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
①下水道処理人口普及率(%) 下水道を利用できる人口/行政区域内人口：337,281人 (普及人口H22.4+整備による普及人口)/H22.4住基人口)				96.7%	97.0%	98.0%				
②瀬田浦クリーク水質浄化整備率（H23～H27） 実施した整備延長(km)/瀬田浦クリーク全体計画整備延長(km)：1.1km				0.0%	10.0%	30.0%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,470.8百万円	A	1,373.3百万円	B	0.0百万円	C	97.5百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	6.6%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
大津市企業局社会資本総合整備計画事後評価委員会にて実施	平成29年9月
	公表の方法
	市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	下水道	一般	大津市	直接	-	汚水	新設	大津処理区 汚水管の整備	汚水管φ150～250 L=0.1km	大津市						61.6	
1-A1-2	下水道	一般	大津市	直接	-	汚水	新設	藤尾処理区 汚水管の整備	汚水管φ150～200 L=0.2km	大津市						29.7	
1-A1-3	下水道	一般	大津市	直接	-	汚水	新設	湖南中部処理区関連 汚水管の整備	汚水管φ75～200 L=0.3km	大津市						52.7	
1-A1-4	下水道	一般	大津市	直接	-	汚水	新設	湖西処理区関連 汚水管の整備	汚水管φ75～400 L=11.1km	大津市						1,034.8	
1-A1-16	下水道	一般	大津市	直接	-	雨水	新設	瀬田浦クリーク水質浄化事業	浄化施設L=0.33km	大津市						194.5	新世代
											小計（下水道事業）						
											合計			1,373.3			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
1-C-1	下水道	一般	大津市	直接	-	新設	大津市公共下水道 汚水管渠整備（支線管渠の整備	支線管渠の整備 L=1.4km	大津市							97.5	
											合計			97.5			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
1-C-1	基幹事業（1-A1-1～4）と接続する汚水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		①下水道の整備状況は、人口普及率（下水道を利用できる人口／行政区域内人口）が平成23年度当初で96.7%であったが、平成27年度末には98.3%に達した ②水質浄化については一連の施設整備完了後に事業効果が発現される。			
II 定量的指標の達成状況	①下水道処理人口普及率	最終(中間)目標値	98.0%	目標値と実績値に差が出た要因	平成27年度末に農業集落排水（桐生地区）の公共下水道への接続が完了したため。
		最終(中間)実績値	98.3%		
	②瀬田浦クリーク水質浄化整備率	最終(中間)目標値	30.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終(中間)実績値	30.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）	
<p>今後も引き続き、琵琶湖の水環境の保全を図り、安全・安心な水環境の創造と良好な下水道サービスの持続性を確保するため、平成28年度に策定した社会資本総合整備計画「大津市公共下水道事業－湖都大津の良好な水環境の形成」(H28～H32)に基づき、下水道施設の構築を推進する。</p>	

参考図面（実績）

【 汚水・雨水 】

